

国語科（国語総合） 学習指導案

指導者名 木村 巧

（受講者番号 16 所属 青森県立三本木高等学校）

- 1 日時・時限 平成26年10月6日（月） 5時限（12:55～13:45）
- 2 学年組・人数 1年 5組 40名（男子15名、女子25名）
- 3 生徒観

- 4 教材名 『探求 国語総合 古典編』（桐原書店）／『精選 古典B』（大修館書店）
- 5 大単元名 「随筆と日記」

- 6 大単元の目標
  - ・日記に書かれた内容をとおして筆者の人物像を理解する。
  - ・助動詞や助詞について理解する。

- 7 大単元の学習計画
  - 1時間目（エキスパート活動）「羽根」「かしらの雪」「帰京」を分担して読み、内容を理解する。（10/6 2校時実施）
  - 2時間目（ジグソー活動）エキスパート活動で理解したことを交換し合い、「羽根」「かしらの雪」「帰京」それぞれの概要を理解し合う。その上で、筆者の人物像や筆者の周辺に起こった事件、作品の内容について考える。
  - 3時間目（クロストーク）ジグソー活動で話し合った内容について各自発表する。
  - 4・5時間目 文法・語句、現代語訳の確認

- 8 本時の小単元名 2時間目（ジグソー活動）

- 9 本時の目標
  - ・各自で学んだ内容をもとに、筆者の人物像や筆者の周辺に起こった事件、作品の内容を把握することができる（読むこと）

10 本時の学習展開

過程	学習内容	生徒の活動	教師の活動と指導上の留意点	評価の観点・方法等	時間
導入	・本時の目標、学習方法についての説明	・教師の話聞き、本時の内容を理解する。	・事前にジグソー班（3人×13班を基本、1つの班のみ4人）に分かれて座っているよう指示しておく。 ・「9 本時の目標」を説明する。  ※ジグソー班の基本的構成 「羽根」を読んだ者1名 「かしらの雪」を読んだ者1名 「帰京」を読んだ者1名 の3名から構成される。		5分
展開	筆者の人物像や筆者の周辺に起こった事件、作品の内容を把握する	（ジグソー活動）エキスパート活動で行ったワークシートをもとに、自分の読み取った文章について発表し合う。	ワークシートを配布し、エキスパート活動でまとめたことをそれぞれ交換するよう指示する。なお、交換する際は口頭で発表し、プリントを見せ合って終わることがないように注意する。 ・各班の状況を見回る。もし発表が滞っている班があれば適宜指導する。		15分
		土佐日記にはどのようなことが書かれているか、紀貫之はどのような人物なのかについて、交換した情報を元にして話し合い、まとめる。  クロストークに向け、発表者を事前に決めておく。	交換した情報をもとに、土佐日記に書かれてある内容や、筆者の人物像について本文を根拠に話し合い、まとめるよう指示する。なお、まとめる際には、根拠とした内容も簡単に書かせる。	各自で学んだ内容をもとに、筆者の人物像や筆者の周辺に起こった事件、作品の内容を把握することができる（読むこと）	25分

過程	学 習 内 容	生 徒 の 活 動	教師の活動と指導上の留意点	評価の観点・方法等	時間
			<p>各班を見回り、話し合いがうまくいっていない班には適宜ヒントを与えたり、場合によっては部分的に班の進行を行ったりする。また、抽象的な意見のみで終わってしまっている班に対しては適宜問いを投げかけることにより思考を促す。(例:「表現がうまい」などしか書かれていない班には「どの点が?」という問いを投げかける)</p>	<p>※話し合いで出てきて欲しい内容例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紀貫之は和歌の名手ということもあり、歌の批評を行っている。また、表現力に優れ、文章中でも言葉遊びや色の対比などが見られる。</li> <li>・当時の船旅は相当危険で、その不安が書かれている。</li> <li>・紀貫之は土佐にいた間に娘を亡くしており、土佐日記にはその悲しさが書かれている。</li> </ul>	
まとめ	次時の内容についての説明		<p>次時はクロストークを行うことを連絡。</p> <p>※クロストーク…ジグソー活動で話し合った内容をそれぞれの班が発表しあう。</p>		5分
<p><b>1 1 本時の評価と手だて</b></p> <p>(1) 各自で学んだ内容をもとに、筆者の人物像や筆者の周辺に起こった事件、作品の内容を把握することができたか。(読むこと)</p> <p>手だて: 次時に行うクロストークで他の班の発表を聞き、内容を理解させる。</p>					